SONY

4-534-717-**03**(1)

ホームオーディオ システム

取扱説明書

準備する
ディスク／ USB を再生する
USB 機器に録音する
ラジオを聞く
Bluetooth 接続で聞く
音質を調節する
その他の操作と設定
使用上の注意・主な仕様

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。**
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

MHC-V3

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

以下の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

設置時や１年に１度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、電源プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら →

❶ **電源を切る。**
❷ **電源プラグをコンセントから抜く。**
❸ **お買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理を依頼する。**

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

指のケガに注意

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

警告

火災　感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

禁止

- 設置時に、製品と壁や棚との間にはさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 移動させるときは、電源コードを抜く。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

➡ 万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーの相談窓口に交換をご依頼ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場などでは絶対に使用しないでください。

禁止

内部に水や異物が入らないようにする

水が入ると火災や感電の原因となります。本機の上に花瓶など水の入ったものを置いたり、本機を水滴のかかる場所に置かないでください。

禁止

➡ 万一、水や異物が入ったときは、すぐに本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

キャビネットを開けたり、分解や改造をしない

火災や感電、けがの原因となることがあります。

分解禁止

➡ 内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。

雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグに触れない

本機やアンテナ線、電源プラグなどに触れると感電の原因となります。

接触禁止

本機を日本国外で使わない

交流 100 V の電源でお使いください。海外など、異なる電源電圧の地域で使用すると、火災・感電の原因となります。

指示

可燃ガスのエアゾールやスプレーを使用しない

清掃用や潤滑用などの可燃性ガスを本機に使用すると、モーターやスイッチの接点、静電気などの火花、高温部品が原因で引火し、爆発や火災が発生するおそれがあります。

禁止

ガス管にアンテナ線をつながない

火災や爆発の原因となります。

禁止

付属の電源コードについて

付属の電源コードは、本機専用です。
他の電気機器では使用できません。

禁止

警告

火災　感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

電源プラグは定期的に手入れをする

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、ショートして、火災の原因となります。電源プラグをコンセントから抜き、定期的にゴミやほこりを取ってください。

指示

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない

電波が影響を及ぼし、医療用電気機器の誤作動による事故の原因となるおそれがあります。

禁止

本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能を使用しない

電波が影響を及ぼし、誤作動による事故の原因となるおそれがあります。

指示

⚠注意

下記の注意事項を守らないとけが**をしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。**

上に乗ったり、座ったりしない

落ちてけがの原因となることがあります。また、本機を傷める原因となります。

禁止

ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

風通しの悪い所に置いたり、通風孔をふさいだりしない

本機に新聞紙、テーブルクロス、カーテン、布などをかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上、または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさぐなど、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。
本機の上に、例えば火のついたローソクのような、火災源を置かないでください。火災の原因となります。

禁止

大音量で長時間つづけて聞かない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

➡ 呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞きましょう。

禁止

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。
ボリュームは徐々に上げましょう。

禁止

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。
本機を本棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に設置しないでください。

禁止

電源プラグは抜き差ししやすいコンセントに接続する

異常が起きた場合にプラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるように、電源プラグは容易に手の届くコンセントにつないでください。通常、本機の電源ボタンを押して切っただけでは、完全に電源から切り離せません。

指示

コード類は正しく配置する

本機の電源コードやAVケーブルは、足にひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。充分に注意して接続、配置してください。

禁止

長期間使わないときは、電源プラグを抜く

長期間使用しないときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化、漏電などにより火災の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

⚠注意

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

設置上のご注意

本機の角でけがなどをしないように、お気をつけください。

幼児の手の届かない場所に置く

ディスクの挿入口などに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。
お子さまがさわらぬようにご注意ください。

指のケガに注意

ひび割れ、変形したディスクや補修したディスクを再生しない

本体内部でディスクが破損し、けがの原因となることがあります。

禁止

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱による**大けが**や**失明**を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠ 警告

電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることもあります。

接触禁止

必ず次の処理をする

➡ 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

指示

➡ 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

電池は乳幼児の手の届かない所に置く

➡ 電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。

禁止

➡ 万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。

電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水でぬらさない、火のそばや直射日光のあたるところなど高温の場所で使用・保管・放置しない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

禁止

⚠ 注意

指定以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

禁止

＋と－の向きを正しく入れる

＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

指示

➡ 機器の表示に合わせて、正しく入れてください。

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

指示

本機で音楽を聞くときのエチケット

本機で音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さめな音でも周囲にはよく通るものです。窓を閉めたりするなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

著作権と商標について

- “ウォークマン”、“WALKMAN”、“WALKMAN”ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 本機は Fraunhofer IIS および Thomson の MPEG Layer-3 オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- Windows Media は米国および／またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。
- 本製品には Microsoft Corporation の知的財産権の対象である技術が含まれています。Microsoft またはその関連会社から使用許諾を得ることなく、この技術を本製品以外で使用または頒布することは禁じられています。
- *Bluetooth*® のワードマークおよびロゴは Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、ソニーはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。
- N マークは NFC Forum, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Android™ は Google Inc. の商標です。
- Google Play™ は Google Inc. の商標です。
- iPhone 及び iPod touch は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。「iPhone」の商標は、アイホン株式会社からライセンスを受け使用しています。
- 「Made for iPod」「Made for iPhone」とは、それぞれ iPod、iPhone 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。本製品を iPod 又は iPhone と共に使用すると、ワイヤレス機能に影響を及ぼす可能性があります。
- その他、本書に登場する商標および登録商標はそれぞれの所有者に帰属します。本文中では ™、® マークは明記しておりません。

目次

各部の名前と働き..... 10

準備する

本機を安全に設置する 13
時計を合わせる..... 14
表示モードを変更する 14

ディスク／ USB を再生する

ディスクを再生する..... 15
本機で USB 機器をご使用になる前に..... 15
USB 機器のオーディオファイルを再生する..... 16
再生モードを変える..... 16

USB 機器に録音する

音楽を録音（転送）する 18

ラジオを聞く

FM 放送を聞く 20

Bluetooth 接続で聞く

Bluetooth 無線技術について 21
Bluetooth オーディオコーデックを設定する..... 22
ワンタッチでスマートフォンと接続する（NFC）..... 22
Bluetooth 機器とワイヤレス接続して音楽を聞く 23
Bluetooth スタンバイモードを設定する 25
Bluetooth 信号を設定する 26
「SongPal」を使う 26

音質を調節する

音質を設定する..... 27
オリジナルのサウンド効果を作成する 27
パーティーの雰囲気を作る（DJ EFFECT）..... 27

その他の操作と設定

表示窓の表示を切り換える..... 28
イルミネーションの設定をする..... 28
タイマーを使う..... 29
別売りのテレビやオーディオ／ビデオ機器などの音声を聞く 30
本体のボタンを動作しないようにする（チャイルドロック）..... 30
オートスタンバイ機能を設定する 30

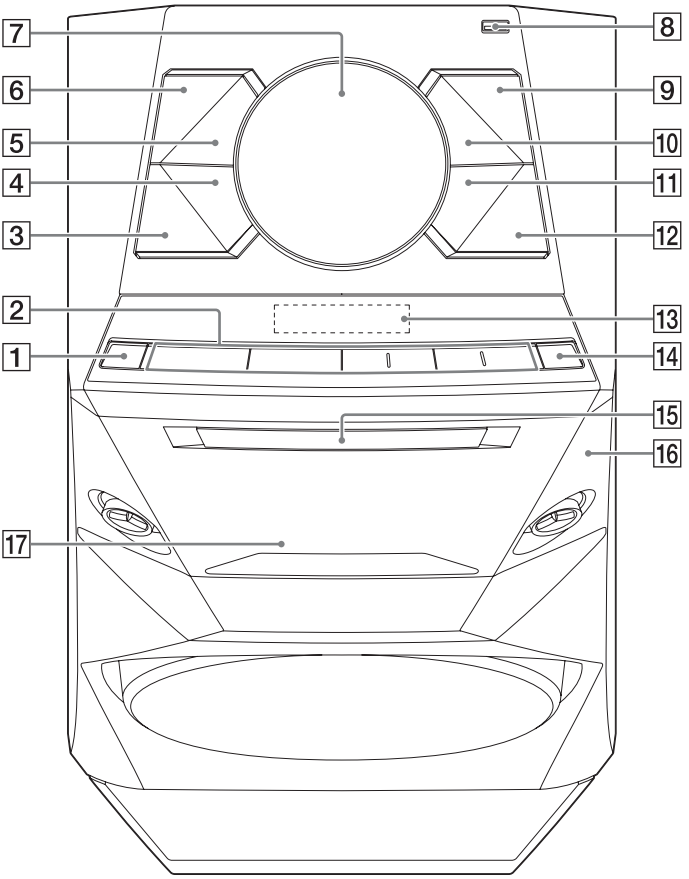
使用上の注意・主な仕様

再生できるディスク 31
故障かな？と思ったら 32
メッセージ一覧..... 36
使用上のご注意..... 37
保証書とアフターサービス 39
主な仕様..... 39

各部の名前と働き

本書では、主にリモコンを使った操作説明をしています。リモコンと同じ名前または類似の名前の本体のボタンは、同じ働きをします。

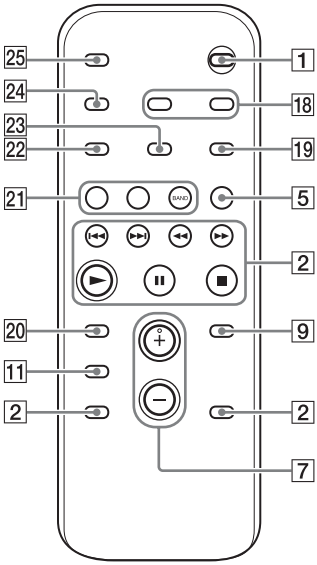
本体



ご注意

本体のボタンを押すときは、印字部分を押してください。

リモコン RM-SCU37B



1 **I/⏻（電源オン／スタンバイ）ボタン**
本機の電源を入れる、またはスタンバイ状態にします。

2 **本体：►II （再生／一時停止）ボタン**
リモコン：► （再生）ボタン、II（一時停止）ボタン
再生を開始または一時停止します。
再生を再開するには、►II または ► を押します。

■（停止）ボタン
再生を停止します。
2 回押すと、USB 機器のつづき再生を解除します。
音楽の録音（転送）中に押すと、録音（転送）を中止します。

◄◄/►►（早戻し / 早送り）ボタン
再生中に長押しすると、トラックまたはオーディオファイルを早送り / 早戻しします。

本体：⏮/⏭（頭出し）ボタン
リモコン：⏮ /⏭ （頭出し）ボタン
トラックまたはオーディオファイルを選びます。

本体：TUNING +/– ボタン
リモコン：+/–（選局）ボタン
お好みの放送局を選びます。

🗀 +/–（フォルダー選択）ボタン
MP3 ディスクまたは USB 機器上のフォルダー（アルバム）を選びます。

本体：↑/↓/←/→ ボタン
メニュー項目を選びます。

3 **OPTIONS ボタン**
オプションメニューに入る、またはオプションメニューを終了します。

4 **DJ EFFECT ボタン**
（27 ページ）
DJ EFFECT の種類を選びます。

5 **FUNCTION ボタン**
ファンクション（音源）を選びます。

6 **BLUETOOTH ボタン**
（22、24、25 ページ）
短押しして、*Bluetooth* ファンクションを選びます。
Bluetooth ファンクションが有効なときに、長押しすると、*Bluetooth* ペアリングが始まります。

7 **本体：VOLUME/DJ CONTROL ダイヤル**
音量を調節します。
DJ EFFECT レベルを調節します（28 ページ）。
DJ EFFECT が働いているときは、このダイヤルを使って音量を調節することはできません。

リモコン：VOLUME +/–* ボタン

音量を調節します。

* VOLUME + ボタンには、突起が付いています。操作時の目印としてお使いください。

8 **(USB) (REC/PLAY) ポート**

USB 機器を接続します。

9 **ENTER ボタン**

操作や設定を確定します。

10 **REC TO USB ボタン**

USB 機器にディスクから音楽を録音（転送）します。

11 **EQ ボタン （27 ページ）**

サウンド効果を選びます。

12 **BASS BAZUCA ボタン（27 ページ）**

短押しすると、低音が補強されます（BASS BAZUCA 効果）。長押しすると、低音が抑えられます（BASS CUT 効果）。

13 **表示窓**

14 **⏏（開／閉）ボタン**

ディスクトレイが開閉します。

15 **ディスクトレイ**

16 **（N マーク）（23 ページ）**

このマークに NFC または FeliCa 機能を搭載したスマートフォンを近づけると、ワンタッチで *Bluetooth* の機器登録や接続／解除ができます。ワンタッチ接続するには設定が必要です。

17 **リモコン受光部**

18 **CLOCK/TIMER SELECT ボタン（29 ページ）**

時計と再生タイマーの確認をします。

CLOCK/TIMER SET ボタン（14、29 ページ）

時計と再生タイマーの時間を設定します。

19 **REPEAT/FM MODE ボタン**

ディスクや USB 機器内の音楽、1 つのトラックまたはファイルを繰り返し再生します（17 ページ）。
FM 受信モード（モノラルまたはステレオ）を選びます（20 ページ）。

20 **CLEAR ボタン**

プログラムリストから一番最後に登録した曲を削除します。

21 **USB ボタン**

USB ファンクションを選びます。

CD ボタン

CD ファンクションを選びます。

TUNER/BAND ボタン

TUNER ファンクションを選びます。

22 **TUNER MEMORY ボタン（21 ページ）**

ラジオ放送局をプリセットします。

23 **PLAY MODE/TUNING MODE ボタン**

音楽 CD、MP3 ディスクまたは USB 機器の再生モードを選びます（16 ページ）。
ラジオを聞いているときは、選局モードを選びます（20 ページ）。

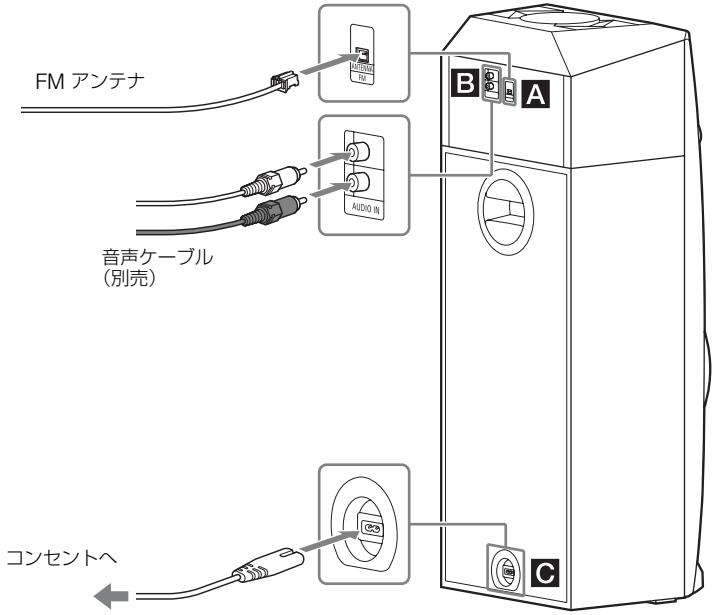
24 **DISPLAY ボタン**

表示窓に表示する情報を変えます。

25 **SLEEP ボタン （29 ページ）**

スリープタイマーを設定します。

本機を安全に設置する



A FM ANTENNA 端子

アンテナを設定するときは、受信状況の良い位置と方向を見つけてください。
ノイズの原因となるため、電源コードや USB ケーブルにアンテナを近づけないでください。

B AUDIO IN L/R 端子

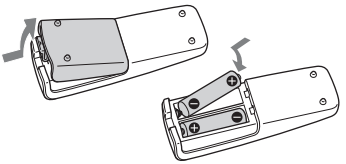
音声ケーブル（別売）を使って、テレビやオーディオ／ビデオ機器などの音声出力端子につなぎます。本機をとおして音声が出力されます。

C 電源

電源コード（付属）を本機に接続してから、コンセントに差し込みます。表示窓にデモが表示されます。
I/⏻ ボタンを押して本機の電源を入れると、デモは自動的に終了します。

電池を入れる

図のように ⊕ と ⊖ の向きを合わせて、単 3 形乾電池 2 本（R6、付属）を入れてください。



ご注意

- 新しい電池と古い電池、または違う種類の電池を混ぜて使わないでください。
- 長い間リモコンを使わないときは、液漏れや腐食による故障を防ぐために電池を取り出してください。

時計を合わせる

省電力モードのときは時計の設定はできません。
この操作にはリモコンのボタンを使用します。

1 I/⏻ ボタンを押して、本機の電源を入れる。

2 CLOCK/TIMER SET を押す。

「PLAY SET」が表示窓に表示されたときは、⏮/⏭ ボタンを繰り返し押して「CLOCK」を選び、ENTER ボタンを押してください。

3 ⏮/⏭ ボタンを繰り返し押して「時」を合わせ、ENTER ボタンを押す。

4 ⏮/⏭ ボタンを繰り返し押して「分」を合わせ、ENTER ボタンを押す。

表示モードを変更する

電源コードをコンセントに差し込むと、表示窓にデモが表示されます。

電源が入っていないときに、DISPLAY ボタンを繰り返し押す。

デモ

デモが表示されます。

表示なし（省電力モード）

表示窓の表示を消して、節電します。タイマーと時計は内部で動いています。

時計

数秒間、時計を表示します。その後時計表示は消え、本機は省電力モードになります。

ディスク／USB を再生する

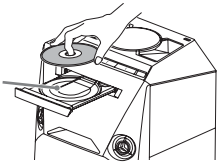
ディスクを再生する

1 CD ボタンを押す。

2 本体の ⏏ ボタンを押す。

3 ラベル側を上にしてディスクをディスクトレイにのせる。

シングル CD などの 8 cm ディスクは、トレイの内側の円の上に置く



4 本体の ⏏ ボタンを押して、ディスクトレイを閉じる。

ディスクトレイを押して無理やり閉めると、故障の原因となります。

5 ► ボタンを押して再生を始める。

ディスクについてご注意

- （音楽 CD）本機は最大 99 トラックまで認識します。
- （MP3 ディスク）本機が認識できる最大数は下記のとおりです。
  – 最大フォルダー数：999*（ルートフォルダー含む）
  – 最大ファイル数：999
  – 1 つのフォルダー内で認識可能な最大ファイル数：250
  – 認識可能な最大階層（フォルダー）レベル：8
  * MP3 ファイルが存在しないフォルダー、空フォルダーも含まれます。フォルダー構成によっては本機で認識できるフォルダー数が少なくなる場合があります。
- CD-TEXT 情報には対応していません。

本機で USB 機器をご使用になる前に

本機が対応している USB 機器についての情報は下記のウェブサイトをご覧ください。
<http://www.sony.jp/support/netjuke/index.html>

再生ソースや録音（転送）先を選ぶには（USB メモリー選択）

USB 機器に複数のメモリーが内蔵されているときは（例えば、内蔵メモリーと外部メモリーカード）、再生ソースや録音（転送）先としてどのメモリーを使用するかを選ぶことができます。

ご注意

再生中または録音（転送）中はメモリーを選ぶことはできません。再生や録音（転送）を始める前に、メモリーを選んでください。

この操作には本体のボタンを使用します。

1 FUNCTION ボタンを繰り返し押して USB ファンクションを選ぶ。

2 USB 機器を ψ ポートに接続する。

3 停止中に、OPTIONS ボタンを押す。

4 ↑/↓ ボタンを繰り返し押して「MEM SEL」を選び、ENTER ボタンを押す。

5 ↑/↓ ボタンを繰り返し押して使用するメモリーを選び、ENTER ボタンを押す。

オプションメニューを終了するには、OPTIONS ボタンを押してください。

USB 機器のオーディオファイルを再生する

本機では以下のオーディオフォーマットを再生できます。
–MP3: ファイル拡張子「.mp3」
–WMA: ファイル拡張子「.wma」
–AAC: ファイル拡張子「.m4a」、「.mp4」または「.3gp」

上記の拡張子のオーディオファイルでもフォーマットが一致していないと、本機からのノイズが発生したり本機が故障したりする場合があります。

1 USB ボタンを押す。

2 USB 機器を ⚲ ポートに接続する。

ご注意
iPhone/iPod は、*Bluetooth* 接続でのみ本機に接続できます。

3 ► ボタンを押して再生を開始する。

再生モードによってオーディオファイルが再生される順番が異なります（16 ページ）。

USB 機器についてご注意
本機が認識できるフォルダーやファイルの最大数は下記のとおりです。
– 最大フォルダー数：1,000*（ルートフォルダー含む）
– 最大ファイル数：3,000
– 1 つのフォルダー内で認識可能な最大ファイル数：250
– 認識可能な最大階層（フォルダー）レベル：8
* 再生可能なオーディオファイルが存在しないフォルダー、空フォルダーも含まれます。フォルダー構成によっては本機で認識できるフォルダー数が少なくなる場合があります。

再生モードを変える

オリジナルの曲順で再生する（ノーマル再生）

停止中に、PLAY MODE ボタンを繰り返し押します。
- 表示なし：ディスクまたは USB 機器内のすべてのトラックやオーディオファイルを再生します
- FLDR*: ディスクまたは USB 機器の指定したフォルダー内のすべてのトラックやオーディオファイルを再生します

* 音楽 CD 再生時に「FLDR」を選ぶと、「表示なし」と同じ動作となります。

曲を順不同で再生する（シャッフル再生）

停止中に、PLAY MODE ボタンを繰り返し押します。
- SHUF: ディスクまたは USB 機器上のすべてのトラックやオーディオファイルを順不同で再生します
- FLDR SHUF*: ディスクまたは USB 機器の指定したフォルダー内のすべてのトラックやオーディオファイルを順不同で再生します

* 音楽 CD 再生時に「FLDR SHUF」を選ぶと、「SHUF」再生と同じ動作となります。

ご注意
本機の電源を切ると、シャッフル再生は解除されて、再生モードがノーマル再生に戻ります。

好きな順に曲を聞く（プログラム再生）

最大 25 曲を再生したい順にプログラムできます。

1 **CD の場合：**

CD ボタンを押す。

USB の場合：

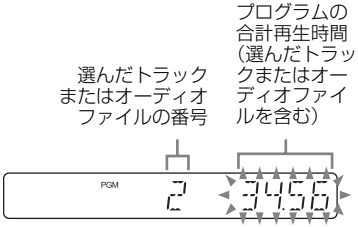
USB ボタンを押す。

2 **停止中に、PLAY MODE ボタンを繰り返し押して、表示窓に「PGM」を点灯させる。**

3 **（オーディオファイルのみ）**
🗀 +/– ボタンを繰り返し押して、フォルダーを選ぶ。

フォルダー内のすべてのファイルをプログラムしたいときは、ENTER ボタンを押す。

4 **⏮/⏭ ボタンを繰り返し押してお好みのトラックまたはオーディオファイルを選び、ENTER ボタンを押す。**



音楽 CD の合計再生時間が 100 分を超えた場合、またはオーディオファイルをプログラムした場合は、「--.--」が表示されます。

5 **トラックまたはオーディオファイルを続けてプログラムするときは、手順 3 から手順 4 を繰り返す。**

6 **► ボタンを押してプログラム再生を始める。**

プログラムした曲（ステップ）を削除するには

停止中に、CLEAR ボタンを押します。ボタンを押すたびに、最後に登録したステップが削除されます。

プログラム再生を解除するには

停止中に、PLAY MODE ボタンを繰り返し押して、表示窓から「PGM」を消す。

ご注意

- (CD のみ）ディスクトレイを開くと、ステップは全て削除されます。
- (USB のみ）下記の操作をすると、ステップは全て削除されます。
  – USB 機器からフォルダーやファイルを消去する。
  – USB 機器を本機から抜く。
  – 選んでいる USB メモリーを変更する。

繰り返し再生する（リピート再生）

REPEAT ボタンを繰り返し押します。

- ⟲: フォルダー／ディスク／ USB 機器／プログラムのすべてのトラックまたはオーディオファイルを繰り返し再生します
- ⟲1: 同じトラックまたはオーディオファイルを繰り返し再生します

USB 機器についてご注意

本機での再生順は、つないだデジタルオーディオプレーヤーの再生順とは異なることがあります。

USB 機器に録音する

音楽を録音（転送）する

つないだ USB 機器にディスク（音楽 CD または MP3 ディスク）から音楽を録音（転送）します。

本機から転送されるファイルのオーディオフォーマットは MP3 です。

ご注意

- 録音（転送）中または消去中に、USB 機器を本機から抜かないでください。USB 機器のデータが破損したり、USB 機器そのものが故障したりすることがあります。
- MP3 ファイルは、元のファイルと同じビットレートで転送されます。
- ディスクトレイが開いていると、録音および消去を実行できません。

著作権保護されたコンテンツについてご注意

録音（転送）した音楽は私的使用に限られています。この制限を超えて音楽を使用するには、著作権保持者の許可が必要です。

再生ソースや転送先を選ぶには（USB メモリー選択）

15 ページを参照してください。

ビットレートを選ぶには

音楽 CD からより良い音質で音楽を録音（転送）するために、より高いビットレートを選ぶことができます。この操作には本体のボタンを使用します。

1 OPTIONS ボタンを押す。

2 ↑/↓ ボタンを繰り返し押して「BIT RATE」を選び、ENTER ボタンを押す。

3 ↑/↓ ボタンを繰り返し押してお好みのビットレートを選び、ENTER ボタンを押す。

- 128 KBPS: エンコードされた MP3 ファイルのファイルサイズは小さくなりますが、低音質です。
- 256 KBPS: エンコードされた MP3 ファイルは高音質ですが、ファイルサイズは大きくなります。

オプションメニューを終了するには、OPTIONS ボタンを押してください。

ディスクから音楽を録音（転送）する

指定された再生モードで再生される音楽全てを USB 機器に簡単に録音（転送）できます（CD SYNC モード）。再生しながら 1 つのトラックまたはオーディオファイルを転送することもできます（CD REC1 モード）。

1 USB 機器を ψ ポートに接続する。

2 CD ボタンを押す。

3 ディスクをディスクトレイにのせて（15 ページ）、トレイを閉じる。

4 CD SYNC モードの場合：

停止中に、PLAY MODE ボタンを繰り返し押して、お好みの再生モードを選ぶ。

ご注意

- シャッフル再生（「FLDR SHUF」）で録音（転送）を開始すると、選んだ再生モードは自動的に「FLDR」に変わります。
- シャッフル再生（「FLDR SHUF」を除く）、リピート再生または曲が登録されていないプログラム再生で録音（転送）を開始すると、選んだ再生モードは自動的にノーマル再生に切り換ります。

CD REC1 モードの場合：

録音（転送）したいトラックまたはオーディオファイルを再生します。

5 本体の REC TO USB ボタンを押す。

表示窓に「PUSH ENTER」が表示されます。

6 ENTER ボタンを押す。

表示窓に「DO NOT REMOVE」が表示されると、録音（転送）が始まります。

CD SYNC モードの場合：

録音（転送）が完了すると、ディスク再生も自動的に停止します。

CD REC1 モードの場合：

指定した曲の録音（転送）が終了しても、ディスクの再生はそのまま続きます。

録音（転送）を途中で止めるには

■ ボタンを押す。

USB 機器からオーディオファイルやフォルダーを削除する

1 停止中に、USB ボタンを押す。

2 ⏮/⏭ または 🗀 +/– ボタンを繰り返し押して、オーディオファイルまたはフォルダーを選ぶ。

3 本体の OPTIONS ボタンを押す。

4 本体の ↑/↓ ボタンを繰り返し押して、「ERASE」を選び、ENTER ボタンを押す。

表示窓に「FOLDER ERASE」または「TRACK ERASE」が表示されます。

5 ENTER ボタンを押す。

表示窓に「COMPLETE」が表示されます。
オプションメニューを終了するには、本体の OPTIONS ボタンを押します。

ご注意

シャッフル再生またはプログラム再生中は、オーディオファイルやフォルダーを消去することはできません。消去する前に再生モードをノーマル再生に戻してください。

録音先のフォルダー名とファイル名

USB 機器に録音（転送）する場合、「MUSIC」フォルダーが「ROOT」の直下に作成されます。下記のように、録音（転送）方法と再生する音源に応じてこの「MUSIC」フォルダー内にフォルダーとファイルが作成されます。

CD SYNC モード（ノーマル再生時）

音源	フォルダー名	ファイル名
オーディオファイル	音源と同じ名前	
音楽 CD	「CDDA0001」*	「TRACK001」*

CD REC1 モード

音源	フォルダー名	ファイル名
オーディオファイル	「REC1-MP3」	音源と同じ名前
音楽 CD	「REC1-CD」	「TRACK001」*

CD SYNC モード（プログラム再生時）

音源	フォルダー名	ファイル名
オーディオファイル	「PGM_0001」*	音源と同じ名前
音楽 CD		「TRACK001」*

* フォルダー番号とファイル番号は番号順に付きます。

録音（転送）についてご注意

- 録音（転送）中は、音が出ません。
- 作成された MP3 ファイルに、CD-TEXT 情報は転送されません。
- 下記の場合、録音（転送）が自動的に停止します。
  - 録音（転送）中に USB 機器の容量が足りなくなった場合。
  - USB 機器のオーディオファイル数とフォルダー数が、本機で認識できる最大数に達した場合（16 ページ）。
- すでに USB 機器に存在しているフォルダーまたはファイルと同じ名前のデータを録音（転送）すると、上書きされず、名前の末尾に通し番号が追加されます。
- 録音（転送）中は下記の操作はできません。
  - ディスクを取り出す。
  - 別のトラックまたはファイルを選ぶ。
  - 再生を一時停止する、またはトラックまたはオーディオファイルを早送り／早戻しする。
  - 本機のファンクションを切り換える。
- PC 上で「Media Manager for WALKMAN」を使ってウォークマンに音楽を録音（転送）するときには、必ず MP3 フォーマットで録音（転送）してください。
- 本機にウォークマン をつなぐときは、ウォークマン の「Creating Library」または「Creating Database」表示が消えたことを確認してからつないでください。

ラジオを聞く

FM 放送を聞く

1 TUNER/BAND ボタンを押す。

2 FM 放送局を選ぶ。

自動選局の場合：

TUNING MODE ボタンを繰り返し押して「AUTO」を選び、次に、+/– ボタンを押します。
放送局を受信すると、選局が自動的に停止します。表示窓に「ST」（FM ステレオ放送の場合のみ）が点灯します。
選局が停止しない場合、■ ボタンを押して選局を停止します。停止したら、手動選局を始めます（下記）。

手動選局の場合：

TUNING MODE ボタンを繰り返し押して「MANUAL」を選ぶ。
次に、+/– ボタンを繰り返し押して、お好みの放送局を受信します。

ちょっと一言

FM ステレオ放送の雑音を軽減したい場合には、FM MODE ボタンを繰り返し押して「MONO」選ぶと、ステレオではなくなりますが、雑音が軽減されることがあります。

放送局を登録（プリセット）する

合計で FM 局を 20 局、お気に入りの放送局として登録できます。

1 **お好みの放送局を受信する。**

2 **TUNER MEMORY ボタンを押す。**

3 **+/– ボタンを繰り返し押してお好みのプリセット番号を選び、ENTER ボタンを押す。**

表示窓に「COMPLETE」が表示されます。放送局が登録されます。

プリセットした放送局を受信するには

TUNING MODE ボタンを繰り返し押して「PRESET」を選ぶ。次に、+/– ボタンを繰り返し押してお好みのプリセット番号を選びます。

Bluetooth 接続で聞く

Bluetooth 無線技術について

Bluetooth 無線技術は、デジタル機器同士で無線データ通信を行うための近距離無線技術です。*Bluetooth* 無線技術は、およそ 10 m の範囲内で通信を行うことができます。

対応 *Bluetooth* バージョン、プロファイル、コーデック

対応 *Bluetooth* バージョン：
- *Bluetooth* 標準規格 Ver.3.1

対応 *Bluetooth* プロファイル：
- A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）
- AVRCP 1.3（Audio Video Remote Control Profile）
- SPP（Serial Port Profile）

対応 *Bluetooth* コーデック：
- SBC（Sub Band Codec）
- AAC（Advanced Audio Coding）

BLUETOOTH ランプについて

BLUETOOTH ランプが青色に点滅または点灯して、*Bluetooth* の状態をお知らせします。

本機の状況	ランプの状況
Bluetooth 待ち受け中	ゆっくり点滅
Bluetooth ペアリング中	速く点滅
Bluetooth 接続完了	点灯

Bluetooth オーディオコーデックを設定する

Bluetooth 機器からのデータは SBC コーデックフォーマットまたは AAC コーデックフォーマットで受信できます。
この操作には本体のボタンを使用します。

1 BLUETOOTH ボタンを押して *Bluetooth* ファンクションを選ぶ。

表示窓に「BT AUDIO」が表示されます。

2 OPTIONS ボタンを押す。

3 ↑/↓ ボタンを繰り返し押して「BT AAC」を選び、ENTER ボタンを押す。

4 ↑/↓ ボタンを繰り返し押して「ON」（オン）または「OFF」（オフ）を選び、ENTER ボタンを押す。

- ON：AAC コーデックフォーマットで受信できるようにします。
- OFF：SBC コーデックフォーマットで受信します。

オプションメニューを終了するには、OPTIONS ボタンを押してください。

ご注意

- AAC を選ぶと、高音質な再生をお楽しみいただけます。接続機器が AAC 非対応の場合は、「OFF」を選んでください。
- 本機が *Bluetooth* 機器につながれているときにこの設定を変更すると、*Bluetooth* 機器の接続が切断されます。もう一度 *Bluetooth* 機器につなぐには、*Bluetooth* 接続をやり直してください。
- AAC コーデックフォーマットで音が途切れるときは、「OFF」を選んで設定を解除してください。本機は SBC コーデックで受信します。

ワンタッチでスマートフォンと接続する（NFC）

「NFC」とは？

NFC とはスマートフォンや IC タグなど、さまざまな機器間で近距離無線通信を行うための技術です。NFC 技術により、NFC 対応機器のタッチポイントにタッチするだけで、簡単にデータ通信を行うことができます。

NFC 対応のスマートフォンで本機にタッチすると、本機で自動的に以下のことが行われます。
– *Bluetooth* 機能がオンになる。
– ペアリングが完了する。
– *Bluetooth* 接続が完了する。

1 NFC 対応のスマートフォンに、「NFC 簡単接続」アプリをダウンロードしてインストールする。

Google Play から無料の Android アプリ「NFC 簡単接続」を検索してダウンロードします、または下記の二次元コードからアクセスしてダウンロードします。データ通信料が発生することがありますのでご注意ください。

NFC 対応のスマートフォンで、二次元コード * から直接アクセスする

* 二次元コード読み取りアプリでご利用ください。

ご注意

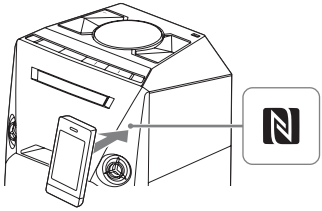
お使いのスマートフォンによっては、アプリをインストールせずに NFC 機能を使用できます。このときは、操作や仕様が異なることがあります。詳しくは、お使いのスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

対応スマートフォン
NFC 機能か FeliCa 機能を搭載したスマートフォン（OS：Android 2.3.3 以降、Android 3.x を除く）

2 スマートフォンで「NFC 簡単接続」アプリを起動する。

アプリの画面が表示されていることを確認してください。

3 スマートフォンが振動するまで、スマートフォンを本機の N マークにタッチし続ける。



スマートフォンに表示される手順に従って、*Bluetooth* 接続を完了してください。
Bluetooth 接続が確立すると、BLUETOOTH ランプが点滅から点灯に変わります。表示窓に接続された *Bluetooth* 機器名が表示されます。
本機が *Bluetooth* 搭載機器に接続された状態で、他の NFC（FeliCa）対応スマートフォンを本機にタッチすると、タッチしたスマートフォンとの接続に切り換えることができます。
詳しくは、*Bluetooth* 機器の取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言

ペアリングと *Bluetooth* 接続に失敗したときは、下記を試してください。
– 「NFC 簡単接続」を再起動して、スマートフォンを本機の N マークの上でゆっくりと動かす。
– スマートフォンに市販のケースを付けている場合は、ケースをはずす。

スマートフォンから音楽を再生するには

スマートフォンでトラックやオーディオファイルの再生を始めます。再生について詳しくは、お使いのスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

スマートフォンの接続を切断するには

スマートフォンを本機の N マークにもう一度タッチする。

Bluetooth 機器とワイヤレス接続して音楽を聞く

Bluetooth 機器からワイヤレス接続で音楽を聞くことができます。

本機が対応している *Bluetooth* 機器についての情報は下記のウェブサイトをご覧ください。
<http://www.sony.jp/support/netjuke/index.html>

本機と *Bluetooth* 機器をペアリングする

ペアリングとは、*Bluetooth* 機器同士をあらかじめ登録する操作です。一度ペアリングを行うと、次回以降はペアリングを行う必要はありません。NFC 対応スマートフォンをご使用の場合は、手動でペアリングを行う必要はありません。

1 本機と *Bluetooth* 機器を 1 m 以内に置く。

2 本体の BLUETOOTH ボタンを押して、*Bluetooth* ファンクションを選ぶ。

表示窓に「BT AUDIO」が表示されます。

ご注意

本機が他の *Bluetooth* 機器と *Bluetooth* 接続が確立しているときは、BLUETOOTH ボタンを押して他の *Bluetooth* 機器との *Bluetooth* 接続を切断してください。

3 本体の BLUETOOTH ボタンを 2 秒以上長押しする。

表示窓に「PAIRING」が点滅して、ペアリング待機状態になります。

4 *Bluetooth* 機器の側でペアリング手順を実行する。

詳しくは、*Bluetooth* 機器の取扱説明書をご覧ください。

5 *Bluetooth* 機器の表示窓で「SONY:MHC-V3」を選ぶ。

Bluetooth 機器でパスキーの入力を求められたら、「0000」を入力してください。

6 *Bluetooth* 搭載機器から *Bluetooth* 接続操作を行う。

ペアリングが完了し、*Bluetooth* 接続が確立されると、*Bluetooth* 機器の名前が表示窓に表示されます。
Bluetooth 機器によっては、ペアリングが完了すると自動的に接続が確立されることがあります。
Bluetooth 機器のアドレスは、DISPLAY ボタンを繰り返し押すと確認できます。

ご注意

- 本機に記録されるペアリング登録情報には、*Bluetooth* 機器を最大 9 台まで登録できます。10 台目の *Bluetooth* 機器をペアリングすると、最初に登録された 1 台目の *Bluetooth* 機器の登録が消去されます。
- *Bluetooth* 機器によっては、「パスキー」は、「パスコード」、「PIN コード」、「PIN ナンバー」、「パスワード」などとも呼ばれます。
- ペアリングが完了せずに、ペアリング待機状態がおよそ 5 分経過すると、ペアリング待機状態が解除されます。ペアリングに失敗したときは、手順 1 からやり直してください。
- 他の *Bluetooth* 機器とペアリングするには、手順 1 から 手順 6 までを繰り返してください。

ペアリング待機状態を解除するには

本体の BLUETOOTH ボタンを 2 秒以上、表示窓に「BT AUDIO」が表示されるまで押し続けます。

Bluetooth 機器の音声ソースを再生する

AVRCP を使って本機と *Bluetooth* 機器をつなぐと、*Bluetooth* 機器を操作できます。
音楽を再生する前に下記をご確認ください。
– *Bluetooth* 機器の *Bluetooth* が有効になっている。
– ペアリングが完了している。

1 本体の BLUETOOTH ボタンを押して *Bluetooth* ファンクションを選ぶ。

表示窓に「BT AUDIO」が表示されます。

2 *Bluetooth* 機器との *Bluetooth* 接続を確立する。

本体の BLUETOOTH ボタンを押すと、前回に *Bluetooth* 接続していた *Bluetooth* 機器と *Bluetooth* 接続を確立しようとします。
本機の側から *Bluetooth* 機器との *Bluetooth* 接続が確立しないときは、*Bluetooth* 機器の側から *Bluetooth* 接続の手順を行います。*Bluetooth* 接続が確立すると、本機の表示窓に *Bluetooth* 機器名が表示されます。

3 ► ボタンを押して再生を始める。

Bluetooth 機器によっては、下記の操作が必要な場合があります。
– ► ボタンを 2 回押す。
– *Bluetooth* 機器の側で *Bluetooth* 機器のトラックやオーディオファイルの再生を始める。

ご注意

- 本機がどの *Bluetooth* 機器とも *Bluetooth* 接続を確立していないときに、手順 3 で ► ボタンを押すと、前回に *Bluetooth* 接続していた *Bluetooth* 機器と自動的に *Bluetooth* 接続が確立します。
- 本機を別の *Bluetooth* 機器と *Bluetooth* 接続を確立しようとすると、現在 *Bluetooth* 接続している Bluetooth 機器との *Bluetooth* 接続が切断されます。

Bluetooth 接続を切断するには

本体の BLUETOOTH ボタンを押す。
表示窓の *Bluetooth* 機器名が消えて、「BT AUDIO」と表示されます。
Bluetooth 機器によっては、再生を停止すると *Bluetooth* 接続が自動的に解除されることがあります。

すべてのペアリング登録情報を消去する

この操作には本体のボタンを使用します。

1 BLUETOOTH ボタンを押して *Bluetooth* ファンクションを選ぶ。

表示窓に「BT AUDIO」が表示されます。
本機が *Bluetooth* 機器につながれているときは、表示窓に *Bluetooth* 機器名が表示されます。*Bluetooth* 機器の接続を切断するには、BLUETOOTH ボタンを押してください。

2 ■ ボタンと DJ EFFECT ボタンをおよそ 3 秒間長押しする。

表示窓に「BT HIST CLEAR」が表示され、すべてのペアリング登録情報が消去されます。

Bluetooth スタンバイモードを設定する

Bluetooth スタンバイモードが有効なときは、*Bluetooth* 機器から *Bluetooth* 接続を確立させると、本機の電源が自動的に入ります。
この操作には本体のボタンを使用します。

1 OPTIONS ボタンを押す。

2 ↑/↓ ボタンを繰り返し押して「BT STBY」を選び、ENTER ボタンを押す。

3 ↑/↓ ボタンを繰り返し押して「ON」（オン）または「OFF」（オフ）を選び、ENTER ボタンを押す。

4 I/⏻ ボタンを押して、本機の電源を切る。

Bluetooth スタンバイモードが有効になっている場合、本機の電源が切れているときでも、*Bluetooth* 接続を待機状態にします。*Bluetooth* 接続が確立されると、自動的に本機の電源が入ります。

Bluetooth 信号を設定する

Bluetooth 信号がオンになっている場合、ペアリング登録情報に登録されているすべての *Bluetooth* 機器を本機に *Bluetooth* 接続することができます。お買い上げ時には *Bluetooth* 信号はオンになっています。
この操作には本体のボタンを使用します。

■ ボタンと 🗀 + ボタンをおよそ 3 秒間長押しする。

表示窓に「BT ON」（オン）または「BT OFF」（オフ）が表示されます。

ご注意

- *Bluetooth* 信号がオフに設定されているときは下記の操作はできません。
  – *Bluetooth* 機器とペアリングする。
  – ペアリング情報を消去する。
  – *Bluetooth* を経由して「SongPal」を使う。
- *Bluetooth* 信号がオフに設定されているとき、本機は *Bluetooth* 機器からの信号を検出できません。
- 本機に NFC 対応のスマートフォンをタッチしたり、*Bluetooth* スタンバイモードをオンにすると、*Bluetooth* 信号が自動的にオンになります。

「SongPal」を使う

アプリについて

このモデル専用のアプリが、Google Play および App Store からダウンロードできます。
「SongPal」を検索して無料アプリをダウンロードすると、便利な機能を使うことができます。

本機の *Bluetooth* 機能を通して使用できる iPhone/iPod は次のとおりです。
iPhone 5s, iPhone 5c, iPhone 5, iPhone 4s, iPhone 4, iPhone 3GS, iPod touch（第 5 世代）、iPod touch（第 4 世代）。

音質を調節する

音質を設定する

こんなとき	操作
低音を補強してパワフルなサウンドにする	本体の BASS BAZUCA ボタンを押す。
低音を下げる（BASS CUT）	本体の BASS BAZUCA ボタンを 2 秒以上長押しする。BASS CUT 効果を解除するには、BASS BAZUCA ボタンをもう一度押します。 **ご注意** • BASS CUT 効果がオンになっている場合、10 秒ごとに表示窓に「BASS CUT」が点灯します。 • BASS CUT 効果は、本体の電源を切ると自動的にオフになります。
サウンド効果を選ぶ	EQ ボタンを繰り返し押す。 サウンド効果を解除するには、EQ ボタンを繰り返し押して「FLAT」を選ぶ。

オリジナルのサウンド効果を作成する

特定の周波数帯域のレベルを上げ下げして、「CUSTOM EQ」として設定をメモリーに保存できます。
この操作には本体のボタンを使用します。

1 OPTIONS ボタンを押す。

2 ↑/↓ ボタンを繰り返し押して「EQ EDIT」を選び、ENTER ボタンを押す。

3 ↑/↓ ボタンを繰り返し押してイコライザーレベルを調節して、ENTER ボタンを押す。

4 手順 3 を繰り返して、他の周波数帯域のレベルとサラウンド効果を調節する。

オプションメニューを終了するには、OPTIONS ボタンを押してください。

オリジナルのサウンド効果を作成するには

EQ ボタンを繰り返し押して、「CUSTOM EQ」を選びます。

パーティーの雰囲気を作る

（DJ EFFECT）

DJ が演奏で使用する特殊サウンド効果を楽しめます。
この操作には本体のボタンを使用します。

1 DJ EFFECT ボタンを繰り返し押して、お好みの効果を選ぶ。

- ISOLATOR：他の周波数帯域を調節することで、特定の周波数帯域を目立たせます。ヴォーカル音を強調したい場合などに便利です。
- FLANGER：ジェット機がうなるような深みのあるフランジング効果を演出します。
- WAH：フィルターの周波数を自動的に上下に移動させ、「ワウワウ」サウンド効果を生み出します。

2 DJ CONTROLダイヤルを回して効果のレベルを調節します。

効果を解除するには

DJ EFFECT ボタンを繰り返し押して「DJ OFF」を選びます。

ご注意

- 本機の電源を切ったり、ファンクションを切り換えると、DJ EFFECT は自動的に解除されます。
- USB 転送中に DJ EFFECT を有効にした場合には、サウンド効果は USB 機器に転送されません。
- DJ EFFECT が働いているときは、本体の VOLUME/DJ CONTROL ダイヤルを使って音量を調節することはできません。リモコンの VOLUME +/– ボタンを押して音量を調節してください。

その他の操作と設定

表示窓の表示を切り換える

本機の電源が入っているときに、DISPLAY ボタンを繰り返し押す。

下記のように情報を表示できます。

- 音楽 CD の場合：
  - 再生中に、経過時間と残り時間を表示します。
  - 停止中に、合計再生時間を表示します。
- オーディオファイル（MP3 ディスク、USB 機器）の場合：
  - 再生経過時間、ファイル名、フォルダー名を表示します。
  - タイトル、アーティスト、アルバム情報を表示します。

ご注意

VBR（可変ビットレート）を使ってエンコードしたオーディオファイルの経過時間は、正しく表示されないことがあります。

イルミネーションの設定をする

この操作には本体のボタンを使用します。

1 OPTIONS ボタンを押す。

2 ↑/↓ ボタンを繰り返し押して「LED SPK」を選び、ENTER ボタンを押す。

3 ↑/↓ ボタンを繰り返し押して「ON」（オン）または「OFF」（オフ）を選び、ENTER ボタンを押す。

オプションメニューを終了するには、OPTIONS ボタンを押してください。

ご注意
イルミネーションがまぶしすぎるときは、お部屋の照明をつけるかイルミネーションを消してください。

タイマーを使う

本機には、スリープタイマーと再生タイマーの 2 種類のタイマーがあります。両方のタイマーをいっしょに使うと、スリープタイマーの設定が優先されます。

スリープタイマー

指定した時間が経過すると、自動的に電源をオフにします。

SLEEP ボタンを繰り返し押す。

スリープタイマーを解除するには、SLEEP ボタンを繰り返し押して「OFF」（オフ）を選びます。

ちょっと一言
タイマー設定中に SLEEP ボタンを押すと本機の電源が切れるまでの時間を確認することができます。

再生タイマー

「時計を合わせる」（14 ページ）を参照して、本機の時計が設定されていることを確認してください。
指定した時刻に毎日自動的に音源をスタートさせ、ディスクや USB 機器からの音楽や、ラジオを聞くことができます。

1 音源を準備し、VOLUME +/– ボタンを押して音量を調節します。

ディスクの好きな曲だけを再生したいときは、プログラム登録をしてください（17 ページ）。

2 CLOCK/TIMER SET ボタンを押す。

3 ⏮/⏭ ボタンを繰り返し押して「PLAY SET」を選び、ENTER ボタンを押す。

4 再生を始める時間を設定する。

⏮/⏭ ボタンを繰り返し押して「時」と「分」を選び、ENTER ボタンを押してください。

5 手順 4 と同じ操作をして、再生を停止する時間を設定する。

6 ⏮/⏭ ボタンを繰り返し押してお好みのファンクション（音源）を選び、ENTER ボタンを押す。

7 I/⏻ ボタンを押して、本機の電源を切る。

ご注意
本機の電源が入ったままの状態では、再生タイマーは有効になりません。

タイマー設定を確認する、またはもう一度タイマーをオンにするには

CLOCK/TIMER SELECT ボタンを押し、次に ⏮/⏭ ボタンを繰り返し押して「PLAY SEL」を選び、ENTER ボタンを押します。

タイマー設定を解除するには

CLOCK/TIMER SELECT ボタンを押し、次に ⏮/⏭ ボタンを繰り返し押して「OFF」を選び、ENTER ボタンを押します。

ご注意
- 再生タイマーにより本機の電源が入る際には、本機の電源は、設定した時間の前に入ります。再生タイマーを設定した時間に本機の電源が入っていたり、表示窓に「STANDBY」が点滅していたりすると、再生タイマーは再生を始めません。
- 本機の電源が入ったら、再生が始まるまでは本機の操作をしないでください。

別売りのテレビやオーディオ／ビデオ機器などの音声を聞く

1 **VOLUME – ボタンを繰り返し押して表示窓に「VOL MIN」を表示させる。**

2 **別売りの機器を AUDIO IN L/R 端子につなぐ。**

3 **FUNCTION ボタンを繰り返し押して AUDIO IN ファンクションを選ぶ。**

4 **つないだ機器の再生を始める。**

5 **VOLUME + ボタンを繰り返し押して、音量を調節する。**

ご注意

つないだ機器の音量が低すぎるときは、本機は自動的にスタンバイモードになることがあります。機器側で音量を調節してください。オートスタンバイ機能をオフにするには、「オートスタンバイ機能を設定する」（30 ページ）をご覧ください。

本体のボタンを動作しないようにする

（チャイルドロック）

子どものいたずらなどによる誤操作防止のため、本体のボタン（I/⏻ を除く）を動作しないようにできます。

本体の ■ ボタンを 5 秒以上長押しする。

表示窓に「CHILD LOCK ON」が表示されます。
リモコンのでの操作は通常どおり行うことができます。
チャイルドロックを解除するには、本体の ■ ボタンを 5 秒以上、表示窓に「CHILD LOCK OFF」が表示されるまで押し続けます。

ご注意

電源コードを抜くと、チャイルドロックは解除されます。

オートスタンバイ機能を設定する

本機には、オートスタンバイ機能が搭載されています。この機能を使うと、何も操作されないまま、または音声信号の入力がないまま 15 分以上が経過すると、自動的にスタンバイ待機状態になります。
お買い上げ時は、このオートスタンバイ機能はオンになっています。
この操作には本体のボタンを使用します。

1 **OPTIONS ボタンを押す。**

2 **↑/↓ ボタンを繰り返し押して「AutoSTBY」を選び、ENTER ボタンを押す。**

3 **↑/↓ ボタンを繰り返し押して「ON」（オン）または「OFF」（オフ）を選び、ENTER ボタンを押す。**

オプションメニューを終了するには、OPTIONS ボタンを押してください。

ご注意

- 表示窓に「AutoSTBY」が約 2 分間点滅してからスタンバイモードに入ります。
- オートスタンバイ機能は、ラジオを聞いている間は動作しません。
- 下記のような場合は、本機は自動でスタンバイモードにはなりません。
  – 音声信号が検出されたとき
  – 曲を再生しているとき
  – 再生タイマーまたはスリープタイマーが動作中の場合

使用上の注意・主な仕様

再生できるディスク

- 音楽 CD
- CD-R/CD-RW
  - 音楽用 CD フォーマット
  - ISO9660 レベル 1、レベル 2 または Joliet（拡張規格）に準拠した MP3 ファイル

ご注意

- MP3（MPEG 1 Audio Layer-3）は、ISO（国際標準化機構）で策定された音声データのデジタル圧縮規格のひとつ。本機では、MPEG 1 Audio Layer-3 に準拠した MP3 ファイルを再生することができます。
- 拡張子が「.mp3」のオーディオファイルのみ再生できます。

再生できないディスク

- CD-ROM
- 下記の状態の CD-R/CD-RW
  - MP3 PRO フォーマットで録音されたディスク
  - マルチセッション方式で記録して、セッションクローズをしていないディスク
  - 互換性のないレコーダーで記録したディスク
  - 記録品質の悪いディスク
  - ひっかき傷や汚れのあるディスク
  - 正しくファイナライズ処理がされていないディスク
- 標準形ではないディスク（例えば、ハート、四角、星型など）
- セロハンテープ、紙、またはシールなどが貼られたディスク
- レンタルディスクや中古ディスクで、表面に貼られたシールから接着剤がはみ出しているディスク
- インクを使って印刷したラベルが貼られていて、ラベルの印刷面がベタベタしているディスク

DualDisc についてのご注意

DualDisc とは DVD 規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。なお、この音楽専用面はコンパクトディスク（CD）規格には準拠していないため、本製品での再生は保証いたしません。

著作権保護技術でエンコードされた音楽ディスク

本機は、コンパクトディスク（CD）の規格に準拠したディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されています。これらの中には CD 規格に準拠していないものがあり、本製品で再生できない場合があります。

マルチセッションディスクの再生についてご注意

- 本機では、マルチセッションディスクでも、第 1 セッションに MP3 ファイルが含まれているときは、再生が可能です。第 1 セッション以外に録音された後続の MP3 ファイルも再生できます（後続のセッションに 音楽 CD フォーマットが含まれているマルチセッションディスクは、本機では再生できません）。
- 第 1 セッションが 音楽 CD フォーマットで録音されているときは、第 1 セッションのみ再生されます。

故障かな？と思ったら

本機に問題が発生したら、以下の該当する項目を調べて、指示に従って操作してください。
それでもトラブルが解決しないときは、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

表示窓に「PROTECTX」（Xは数字）が表示されたら

すぐに電源コードを抜いて、下記の項目を確認してください。
- USB ポートがショートしていませんか？
- 本体の通風孔が塞がれていませんか？

上記の項目を確認してトラブルが解決したら、電源コードをもう一度接続して、本機の電源を入れてください。それでもトラブルが解決しないときは、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

共通

本機がスタンバイ状態になる。
- これは故障ではありません。何も操作されないまま、または音声信号の入力がないまま 15 分以上が経過すると、自動的にスタンバイ状態になります（30 ページ）。

時計やタイマーの設定が解除される。
- 電源コードが抜かれた。または、停電が起きた。時計（14 ページ）とタイマー（29 ページ）をもう一度設定してください。

音が出ない。
- 音量を調節してください。
- 別売りの機器をつないでいるときは、接続を確認してください（13 ページ）。
- つないだ機器の電源を入れてください。
- 電源コードを抜いてからもう一度接続して、本機の電源を入れてください。

ブーンという音がする、ノイズがひどい。
- 本機をノイズの原因となっている機器から離してください。
- 本機を他のコンセントにつないでください。
- 市販のノイズフィルターを電源コードに取り付けてください。
- 本機の周りにある機器の電源を切ってください。

タイマーが機能しない。
- タイマー設定を確認し、正しい時間を設定してください（29 ページ）。
- スリープタイマー機能を解除してください（29 ページ）。

リモコンが機能しない。
- リモコンと本体の間の障害物を取り除いてください。
- リモコンを本体に近付けてください。
- リモコンを本体の受光部に向けて操作してください。
- 電池を交換してください（単 3 形（R6）電池２本）。
- 本機を蛍光灯から離して設置してください。

音響的フィードバック（ハウリング）が起きる。
- 音量を下げてください。

本体のいずれかのボタンを押すと、「CHILD LOCK」が表示される。
- チャイルドロックを解除してください（30 ページ）。

ディスクプレーヤー

ディスクトレイが開かず、表示窓に「LOCKED」が表示される。

- 最寄りのソニー代理店またはソニーの相談窓口にお問い合わせください。

ディスクトレイが閉まらない。

- ディスクをディスクトレイに正しくのせてください。

ディスクを取り出せない。

- CD SYNC モード中または CD REC1 モード中は、ディスクを取り出すことはできません。
  ■ ボタンを押して録音を中止して、本体の ⏏ ボタンを押してディスクを取り出してください。
- お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

再生が始まらない。

- ディスクの汚れをふき取ってください（37 ページ）。
- ディスクをもう一度挿入し直してください。
- 本機で再生できないディスクを挿入した（31 ページ）。
- ディスクを取り出し、水分を拭き取ってください。また本体内部の水分を蒸発させるため、電源を入れたまま数時間放置してください。

音が飛ぶ。

- ディスクの汚れをふき取ってください（37 ページ）。
- ディスクをもう一度挿入してください。
- 振動のない場所に本機を移動させてください。

再生が 1 曲目から始まらない。

- 再生モードをノーマル再生にしてください（16 ページ）。

フォルダー名、トラック名、ファイル名および ID3 タグの文字が正しく表示されない。

- ID3 タグがバージョン 1（1.0/1.1）およびバージョン 2（2.2/2.3）ではありません。
- 本機で表示できる文字コードは数字およびアルファベットのみです。その他の文字は「_」と表示されます。

USB 機器

録音（転送）するとエラーが発生する。

- 本機が対応していない USB 機器を使用しています。本機が対応している USB 機器についての情報は、ウェブサイトをご覧ください（15 ページ）。
- USB 機器が正しく初期化されていない。初期化については、USB 機器の取扱説明書を参照してください。
- 本機の電源を切り、USB 機器を取りはずす。USB 機器に電源スイッチがあるときは、USB 機器を本機から取りはずして電源を切ってから、もう一度電源を入れてください。そのあと、もう一度録音（転送）操作を行ってください。
- 録音（転送）操作や消去操作を複数回繰り返し行うと、USB 機器内のファイル構成が断片化します。このトラブルの対処方法については、USB 機器の取扱説明書を参照してください。
- 録音（転送）中に、USB 機器がはずされた、または電源が切られた。部分的に転送されたファイルを削除して、もう一度ファイルを転送する。それでもトラブルが解決しない場合は、USB 機器が故障している可能性があります。このトラブルの対処方法については、USB 機器の取扱説明書を参照してください。

USB 機器のオーディオファイルまたはフォルダーを消去できない。

- USB 機器が書き込み保護されていないか確認してください。
- データ消去中に、USB 機器がはずされた、または電源が切られた。部分的に消去されたファイルを削除してください。それでもトラブルが解決しない場合は、USB 機器が故障している可能性があります。このトラブルの対処方法については、USB 機器の取扱説明書を参照してください。

音が出ない。

- USB 機器が正しくつながれていない。本機の電源を切り、USB 機器をつなぎ直し、本機の電源をもう一度入れてください。

ノイズや音飛びがある。または音が歪む。

- 本機が対応していない USB 機器を使用している。本機が対応している USB 機器についての情報は、ウェブサイトをご覧ください（15 ページ）。
- 本機の電源を切り、USB 機器をつなぎ直し、本機の電源をもう一度入れてください。
- 音楽データ自体にノイズが含まれていたり、音声が歪んでいます。録音（転送）中にノイズが入った可能性があります。ファイルを削除して、もう一度録音（転送）してください。
- オーディオファイルをエンコードするときに使用したビットレートが低い。ビットレートを高く設定して、オーディオファイルを USB 機器に録音（転送）してください。

「READING」が長時間表示される。または、再生が開始するまでに時間がかかる。

- 下記の場合は、データの読み込みに時間がかかります。
  - USB 機器のフォルダー数やファイル数が多い（16 ページ）。
  - ファイル構成が複雑である。
  - 大量のメモリーが使われている。
  - 内蔵メモリーが断片化している。

「OVER CURRENT」が表示される。

- ψ ポートからの電流レベルに関して問題が検出された。本機の電源を切り、ポートから USB 機器を取りはずしてください。USB 機器に異常がないか確認してください。それでもこの画面が表示されるときは、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

エラーが表示される。

- USB 機器に保存されたデータが破損した可能性があるため、もう一度データを録音（転送）してください。
- 本機で表示できる文字コードは数字およびアルファベットのみです。その他の文字は「_」と表示されます。

USB 機器が認識されない。

- 本機の電源を切り、USB 機器をつなぎ直し、本機の電源をもう一度入れてください。
- 本機が対応している USB 機器についての情報は、ウェブサイトをご覧ください（15 ページ）。
- USB 機器が正しく働かない。このトラブルの対処方法については、USB 機器の取扱説明書を参照してください。

再生を開始できない。

- 本機の電源を切り、USB 機器をつなぎ直し、本機の電源をもう一度入れてください。
- 本機が対応している USB 機器についての情報は、ウェブサイトをご覧ください（15 ページ）。

再生が 1 曲目から始まらない。

- 再生モードをノーマル再生にしてください（16 ページ）。

オーディオファイルを再生できない。

- FAT16 または FAT32 以外のファイルシステムで初期化された USB 機器には、本機は対応していません。*
- WMA DRM、WMA Lossless、または WMA PRO フォーマットで作成された WMA ファイルは再生できません。
- AAC DRM または AAC Lossless フォーマットで作成された AAC ファイルは再生できません。
- 96 kHz でエンコードした AAC ファイルは再生できません。
- 使用中の USB 機器に複数のパーティションが含まれていると、ファイルが再生されないことがあります。
- 本機では 8 フォルダー階層までしか再生できません。
- 暗号化またはパスワードで保護されたファイルは、再生できません。
- DRM（デジタル著作権管理）の著作権保護付きのファイルは、本機では再生できません。
- MP3 PRO ファイルは、MP3 ファイルとして再生できます。

* 本機は FAT16 および FAT32 に対応していますが、一部の USB 機器ではこれらの FAT に対応していない場合があります。詳しくは、USB 機器それぞれの取扱説明書をご覧ください。または、製造者にお問い合わせください。

ラジオ

雑音が入る（「ST」が点滅する）、または放送が受信できない。*

- アンテナを正しくつないでください。
- アンテナの位置と向きを変えて、受信状況を改善してください。
- 本機の周りにある機器の電源を切ってください。

* お住まいの地域の電波状況や住宅環境によっては、ラジオが受信できない場合があります。

Bluetooth 機器

ペアリングができない。

- *Bluetooth* 機器を本機に近付けてください。
- 本機の周りに他の *Bluetooth* 機器があると、ペアリングできないことがあります。このときは、他の *Bluetooth* 機器の電源を切ってください。
- *Bluetooth* 機器にパスワードを正しく入力したか確認してください。

***Bluetooth* 機器が本体を検出できない、または表示窓に「BT OFF」が表示される。**

- *Bluetooth* を「BT ON」に設定してください（26 ページ）。

接続できない。

- つなごうとしている *Bluetooth* 機器が A2DP プロファイルに対応していないため、本機につなぐことができません。
- *Bluetooth* 機器の *Bluetooth* を有効にしてください。
- *Bluetooth* 機器から接続を確立させてください。
- ペアリング登録情報が消去された。もう一度ペアリング操作を行ってください。
- *Bluetooth* 機器のペアリング登録情報を消去して（25 ページ）、もう一度ペアリング操作を行ってください（23 ページ）。

音が飛んだり、上下に変動したり、接続が切れたりする。

- 本機と *Bluetooth* 機器が離れすぎています。
- 本機とお使いの *Bluetooth* 機器の間に障害物があるときは、障害物を取り除いてください。
- 無線 LAN 搭載機器、他の *Bluetooth* 機器、電子レンジなど電磁波を発する機器が近くにあるときは、本機から離して置いてください。

***Bluetooth* 機器の音声が本機から聞こえない。**

- *Bluetooth* 機器の音量を上げてから、リモコンの VOLUME +/– ボタンで音量を調節してください。

ノイズや音の歪みがひどい。

- 本機とお使いの *Bluetooth* 機器の間に障害物があるときは、障害物を取り除いてください。
- 無線 LAN 搭載機器、他の *Bluetooth* 機器、電子レンジなど電磁波を発する機器が近くにある場合は、本機から離して置いてください。
- つないだ *Bluetooth* 機器の音量を下げてください。

本機をリセットするには

「故障かな？と思ったら」の項目を実行しても本機が正しく働かない場合は、本機の設定をお買い上げ時の状態に戻します。
この操作には本体のボタンを使用します。

1 電源コードを抜いて、もう一度つなぐ。

2 I/⏻ ボタンを押して、本機の電源を入れる。

3 ■ ボタンと ENTER ボタンをおよそ 3 秒間同時に長押しする。
表示窓に「RESET」が表示されます。
既に登録してあるラジオ放送局、タイマーや時計の設定など、すべての設定がリセットされ、お買い上げ時の状態に戻ります。

メッセージ一覧

本機の使用中に、次のようなメッセージが表示、または点滅することがあります。

CANNOT PLAY

再生できないディスクが挿入された。

DEVICE ERROR

USB 機器が認識できない。または、不明な機器がつながれている。

DEVICE FULL

USB 機器の空き容量がない。

FATAL ERROR

曲の録音（転送）中や消去中に USB 機器がはずされた。
USB 機器が故障した可能性があります。

FOLDER FULL

フォルダー数が上限に達しているため、USB 機器に転送できない。

FULL

25 曲以上をプログラムに登録しようとした。

NO DISC

ディスクトレイにディスクがない。

NO STEP

プログラムが登録されていない。

NO SUPPORT

非対応の USB 機器がつながれている。または、USB 機器が USB ハブを経由してつながれている。

NO TRACK

本機で再生できるトラックやオーディオファイルが入っていない。

NoDEVICE

USB 機器が接続されていない。

NoMEMORY

再生または録音（転送）用に選んだメモリーカードが USB 機器に入っていない。

NOT USE

使用できないボタンを押した。

PROTECT

USB 機器が書き込み保護されている。

PUSH STOP

再生が停止しているときにしか行えない操作を行おうとした。

READING

ディスクまたは USB 機器の情報を読み取り中である。操作が制限されます。

REC ERROR

録音（転送）を開始しなかったり、途中でやめたりしたため、録音（転送）が実行できなかった。

TIME NG

再生タイマーの開始時刻と終了時刻に同じ時刻が設定されている。

TRACK FULL

ファイル数が上限に達しているため、USB 機器に録音（転送）できない。

使用上のご注意

本機を運ぶときは

ディスク装置を保護するために下記の手順で行ってください。
この操作には本体のボタンを使用します。

1 I/⏻ ボタンを押して、本機の電源を入れる。

2 CD ボタンを押す。

3 ディスクを取り出す。
⏏ ボタンを押して、ディスクトレイの開け閉めをする。
表示窓に「NO DISC」が表示されるまでお待ちください。

4 電源コードを抜く。

ディスクについてご注意

- 再生する前に、クリーニングクロスで中心から外側へ向かってディスクをふいてください。
- ベンジン、シンナーや市販のクリーナーなどの溶剤や LP レコード盤用の静電気防止スプレーを使わないでください。
- 直射日光が当る場所、または熱風ダクトや炎天下に停車した車の中など高温になる場所に、ディスクを放置しないでください。

安全のために

- 長い間使用しない場合は、電源コードをコンセントから完全に抜いてください。プラグ部分を持って本機のコードを抜いてください。決してコードを引っ張らないでください。
- 異物や液体が本体に入った場合は、本機のプラグをコンセントから抜き、ソニーの相談窓口（裏表紙）またはお買い上げ店にご相談ください。
- 電源コードは指定のサービスショップでのみ交換できます。

設置について

- 水平でない場所、極端に暑いまたは寒い場所、ほこりっぽい場所や清潔でない場所、湿度の高い場所、風通しの悪い場所、振動する場所、直射日光または明るい光にさらわれるような場所に本機を置かないでください。
- ワックス、油脂、研磨剤などが塗られている場所に、本機を設置すると、変色、染みなどが残ることがありますので、ご注意ください。
- 本機を寒い場所から暖かい場所へ移動させたり、湿度の高い場所に置いたりすると、本機内のレンズに結露が発生して、本機の故障の原因となります。この場合は、ディスクを取り出して、本機の電源を 1 時間ほど入れたままにして水分を蒸発させてください。

放熱について

- 使用中、本機の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。
- 大音量で鳴らし続けると、本機キャビネットが熱くなることがあります。
このようなときは、キャビネットに触れないでください。
- 温度上昇による故障の原因となるため、通風孔をふさがないでください。

スピーカーシステムについて

内蔵スピーカーシステムは磁気シールドされていないため、近くのテレビの画像が磁気で歪むことがあります。この場合は、テレビの電源を切って、15 ～ 30 分後にもう一度電源を入れてください。改善されない場合は、本機をテレビから離してください。

キャビネットのお手入れについて

本機の汚れは、中性洗剤溶液を少し含ませた柔らかい布などで拭いてください。
研磨パッド、研磨剤、シンナー、ベンジン、アルコールなどの溶剤は表面を傷めるので、使わないでください。

Bluetooth 通信について

- *Bluetooth* 機器は、見通し距離で約 10 m 以内で使用してください。以下の状況においては、通信有効範囲が短くなることがあります。
  - *Bluetooth* 接続している機器の間に、人体や金属、壁などの障害物がある場合
  - 無線 LAN が構築されている場所
  - 使用中の電子レンジの周辺
  - その他の電磁波が発生している場所
- *Bluetooth* 機器と無線 LAN（IEEE802.11b/g）は、同一周波数帯（2.4 GHz）を使用しています。無線 LAN 搭載機器の近辺で *Bluetooth* 機器を使用すると、電波干渉が発生することがあります。これが、通信速度の低下、ノイズや接続不能の原因になる場合があります。この場合は、次の対策を行ってください。
  - 他の無線 LAN 搭載機器から 10 m 以上離れたところで、本機と *Bluetooth* 機器を接続する。
  - *Bluetooth* 機器を 10 m 以内の場所で使うときは、他の無線 LAN 搭載機器の電源を切る。
- 本機が発生する電波は、一部の電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては故障の原因になりますので、次の場所では本機および *Bluetooth* 機器の電源を必ず切ってください。
  - 病院内、電車内、航空機内、ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
  - 自動ドアや火災報知機の近く
- 本機は、*Bluetooth* 技術を使用した通信時のセキュリティー確保のため、*Bluetooth* 標準規格に準拠したセキュリティー機能に対応しています。ただし、設定内容などによってセキュリティーが充分でない場合がありますので、*Bluetooth* 技術を使用して通信を行う際はご注意ください。
- *Bluetooth* 技術を使用した通信時に情報の漏洩が発生しましても、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機と同じプロファイルに対応しているすべての *Bluetooth* 機器との *Bluetooth* 通信を保証するものではありません。
- 本機と接続する *Bluetooth* 機器は、Bluetooth SIG, Inc. の定める *Bluetooth* 標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。ただし、*Bluetooth* 標準規格に適合していても、*Bluetooth* 機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法、表示や動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
- 本機と接続する *Bluetooth* 機器、通信環境や周囲の状況によっては、ノイズが入ったり、音が途切れたりすることがあります。

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数は 2.4 GHz 帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。ソニーの相談窓口については、本取扱説明書の裏表紙をご覧ください。

この無線機器は 2.4 GHz 帯を使用します。変調方式として FH-SS 変調方式を採用し、与干渉距離は 10 m です。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されています。お買い上げの際、お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときはソニーの相談窓口へ

ソニーの相談窓口（裏表紙）へご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 型名：MHC-V3
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 購入年月日：
- お買い上げ店：

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではホームオーディオシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後 8 年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

主な仕様

アンプ部

実用最大出力（非同時駆動、JEITA[1)]）
　左／右チャンネル：
　110 W + 110 W（2 Ω、1 kHz）
　サブウーファー：
　230 W（4 Ω、100 Hz）

入力

AUDIO IN L/R 端子
　電圧 2 V、インピーダンス 47 kΩ
⭠（USB）ポート
　タイプ A

USB 部

対応ビットレート
　WMA:
　48 kbps ～ 192 kbps、VBR
　AAC:
　48 kbps ～ 320 kbps、VBR
サンプリング周波数
　WMA: 44.1 kHz
　AAC: 44.1 kHz
対応 USB 機器
　マスストレージクラス
最大電流
　500 mA

ディスク／USB 部

対応ビットレート
MPEG1 Layer-3:
32 kbps ～ 320 kbps、VBR

サンプリング周波数
MPEG1 Layer-3:
32 kHz/44.1 kHz/48 kHz

ディスクプレーヤー部

形式
コンパクトディスクおよびデジタルオーディオシステム

レーザーの仕様
放射時間：連続
レーザー出力 *：44.6 μW 未満

* この出力値は、7 mm の開口部にて光学ピックアップブロックの対物レンズ面より 200 mm の距離で測定したものです。

周波数特性
20 Hz ～ 20 kHz

SN 比
90 dB 以上

ダイナミックレンジ
88 dB 以上

FM チューナー部

回路方式
FM チューナー、スーパーヘテロダイン方式

受信周波数
76.0 MHz ～ 90.0 MHz
（100 kHz ステップ）

アンテナ端子
FM アンテナ

Bluetooth 部

通信方式
Bluetooth 標準規格 Ver.3.1

出力
Bluetooth 標準規格 Power Class 2

最大通信距離
見通し距離約 10 m[2)]

使用周波数帯域
2.4 GHz 帯 (2.4000 GHz ～ 2.4835 GHz)

変調方式
FHSS（Freq Hopping Spread Spectrum）

対応 *Bluetooth* プロファイル [3)]
A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）
AVRCP 1.3（Audio Video Remote Control Profile）
SPP（Serial Port Profile）

対応コーデック
SBC（Sub Band Codec）
AAC（Advanced Audio Coding）

対応コンテンツ保護
SCMS-T 方式

伝送帯域（A2DP）
20 Hz ～ 20,000 Hz
（44.1 kHz サンプリング時）

スピーカー部

スピーカー形式
3 ウェイ、サウンド プレッシャーホーン

スピーカーユニット
トゥイーター左／右：40 mm、コーン型
ミッドスピーカー左／右：80 mm、コーン型
ウーファー：200 mm、コーン型

定格インピーダンス
トゥイーター左／右：2 Ω
ミッドスピーカー左／右：2 Ω
ウーファー：4 Ω

その他

電源
　　AC 100 V、50/60 Hz
消費電力
　　120 W（通常動作時（JEITA[1)]））
最大外形寸法（幅×高さ×奥行き、最大突起部含む）
　　約 280 mm × 786 mm × 280 mm
質量
　　約 13.0 kg
付属品
　　リモコン（1）
　　単 3 形（R6）乾電池（2）
　　FM アンテナ（1）
　　電源コード（1）
　　保証書（1）
　　ユーザー登録カード（1）
　　取扱説明書（本書）（1）

1) JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。
2) 通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わる場合があります。
3) *Bluetooth* プロファイルとは、*Bluetooth* 機器の特性ごとに機能を標準化したものです。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

本機は「JIS C 61000-3-2 適合品」です。

待機時消費電力：0.5 W

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは
ホームページをご活用ください。

http://www.sony.jp/support/

使い方相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・・0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ 050-3754-9577

修理相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・・0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ 050-3754-9599

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX（共通） 0120-333-389

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に
「306」+「#」
を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

Made for iPod iPhone

Bluetooth®

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

©2014 Sony Corporation　Printed in Malaysia

* 4 5 3 4 7 1 7 0 3 *　(1)